

第5回 光駅周辺地区拠点整備基本構想検討会議 会議録

日時：平成30年12月11日（火）18：30～20：00

場所：光市役所3階 大会議室1・2号

【出席者】

- ・委員：14人（代理出席3人、欠席4人）
- ・事務局：建設部長、都市政策課5人、株式会社荒谷建設コンサルタント：3人
- ・傍聴：2人

1 開会

● 事務局

会議資料の確認、代理出席者の報告

2 会長あいさつ

皆さん、こんばんは。本日はどうぞよろしくお願ひしたい。先日、光の玄関を考えるというシンポジウムを開催し、私も登壇した。詳しくは事務局の方から説明があろうかと思うが、二つ話題の提供があった。一つは、亀山市。亀山市は人口5万人で、今光市も取り組んでいる立地適正化計画を策定中で、分散する拠点（都市の拡散）は認めながらも駅周辺の市街地再開発事業に取り組んでいる。一般的には、高層化するマンションを、何とか公共施設を入れながら低層の建築で市街地再開発事業を事業化しようとしている、というような報告があった。もう一点は、姫路駅。姫路駅は眺望景観が確保された駅であるが、それに至るまでにはいろんな取り組みがなされている。ひとつは、いろんな方とワークショップをやること。学生を巻き込んだり、専門家だけのワークショップをしたり、決まりかかったものを再検討して計画案を練り直したり、交通事業者や地権者とのディスカッションを繰り返して行なったりして、非常に立派な駅が完成した。また、出来あがった後もマネジメントをしっかり行なったという報告があった。光駅周辺が今後この二つの事例に負けないような良い計画案に少しでも近づけるように基本構想をまとめ、次のステップに議論を展開させていきたい。これは事務局にもお願ひしたい。

本日もどうぞよろしくお願ひしたい。

3 議題

<シンポジウムの報告>

● 会長

議題に入る前に、シンポジウムについての報告を事務局からお願ひしたい。

● 事務局

去る10月31日に光市民ホールで、光駅周辺地区の拠点整備に向けた機運の醸成や、現在進めている取り組みの幅広い周知と啓発を目的に、『光の玄関づくり～光駅周辺の未来をかんがえる～』と題したシンポジウムを開催した。当日は鶴会長にパネルディスカッションのコーディネーターを務めていただいたほか、委員の皆様にもご出席いただいて、平日昼間にも関わらず240人を超える方に来場いただいた。厚くお礼を申し上げます。シンポジウムでは、鶴先生から

紹介いただいた二人の専門家を招き、講演していただいた。明治大学副学長理工学部教授小林正美先生、東京大学大学院准教授村山顕人先生から、全国各地で携わられている事例の紹介を交えながら高度に専門的な見識から大変貴重で興味深い講演をしていただいた。まず、基調講演として都市計画を専門とする村山先生から、これからの都市の空間戦略として魅力的な拠点の形成にはにぎわい以外のより大きな目標が必要であるといった考えのもとで、公共交通を使いたくなる仕組みづくりやデザインを迫及すること、あるいは新しい活動や仕事・体験などを放出することの重要性のほか、光駅から海に向かって雰囲気や景観として作り出す空間デザインの検討が必要だといった意見をいただいた。また、建築計画を専門とする小林先生からは、市民と行政と専門家による創造的な連携が必要であるという考えのもとで、まずは光市で働く人々にとって住みやすいまちを目指すことが人口増につながるという意見や、駅前の滞在や滞留時間を見出していく必要性、回遊空間づくり、南北連携の強化といった指摘などがあつた。また、ハード面の整備だけでなく、それらを使いこなす人を育てることが大切であるため、例えば、若い人にチャンスを与えるような社会実験をしてはどうか、といった提案をいただいた。いただいた貴重なご意見は、具体的なものについては次のステップに委ね、基本的な考え方や趣旨は、検討会議の意見とともに構想づくりに活かしていきたいと考えている。

以上で先日のシンポジウムの報告とする。

● 会長

ありがとうございました。シンポジウムについては基本構想に盛り込めるところは大いに盛り込んでいただいて深みを増していただきたいと思います。事務局よろしくお願ひしたい。

<光駅周辺地区拠点整備基本構想（案）について>

● 会長

それでは光駅周辺地区拠点整備基本構想（案）について、事務局より説明をお願いしたい。

● 事務局

<事務局から「光駅周辺地区拠点整備基本構想（案）」、「ご意見等への対応状況まとめ」の資料に基づき説明>

● 会長

ただいま事務局から説明を行なった内容について質問等あるか。前回から、大きなところで追加された、もしくは修正が為されたところは、後半の最後のA3の見開き以降（P31～33）だろう。それ以前のところは、今まで議論していただいて概ねご了解いただいた形で整理が進んでいると思うが、追加されたところなど含めていかがか。

● 委員

構想だから具体化していないところがたくさんある状態で良いのだが、構想の次のステップがどうなって最終的に何をどう位置付けていくか、といったところがまだまだ見えにくい。シンポジウムの話聞いた限りでは、実際出来あがったところ（先進事例）でよく出てくる“空間デザイン”や“エリアマネジメント”といった、「まちづくり」から「まち育て」につなげていくというような段階性を、この構想の中でどう見せていくのか。このあたり、ぼんやりしたところがあるので、構想の次の段階のことをもう少し補足しておいていただけるとありがたい。

● 事務局

33 ページをご覧ください。副会長から次のステップという話があった。現在取りまとめているのが基本構想ということで、おっしゃるとおりぼんやりしたところがある。「1 基本計画等の策定」のところにあるように、策定後の次のステップとして、一般的には基本計画あるいは基本設計といった段階にシフトしていく。その次に実施設計、そして建設工事に入っていくというのが事業を進めていく上での基本的なステップだと認識している。今年度中に基本構想を取りまとめる予定としており、次のステップに関しては予算編成中であるため具体的なことは言えないが、それに向けて進んでいきたいと考えている。ご理解をお願いしたい。

また、「4 “まちぐるみ”の推進」で、市民、事業者と一緒に計画作りあるいは事業の実現といった記述をしており、まちづくり・まち育てといった意見があったが、市民や事業者を巻き込みながら進めていきたいとの考えから、このような記述をしている。

● 会長

そこが皆さん興味のあるところだと思う。32 ページの「短期の取組みの一例」というところで、予算編成の時期で断言できないこともあり「一例」としているのかもしれないが、ここが短期的にこうしたい、という事務局の意思ではないかと理解している。光市としてはどのような手立てで来年度以降やっていくのか。最終ページに「検討を着実に進めていく」ということと「段階的な整理を推進する」と断言しているので、それを踏まえて短期的な取組みのところをどういったシナリオ・段階で着実に進めていくのかを、次の会議までに書けるところは書いていただきたい。できれば時期的なところが書ければ理解が進むのではないと思う。なにかコメントはあるか。

● 事務局

後ほどご案内しようと思っていたが、次の会議が最後になろうかと思うが3月を予定している。3月にはもう少し詳しい説明ができるように善処していく。

● 会長

「短期の取組みの一例」と「中・長期の取組みの一例」をご覧ください。まずは事務局としては「短期の取組み」をやっていききたいということだろう。一例とは書いているが行政の考え方に近いのではないか。前段を踏まえての最終的なところだろうと思うので、そのあたりを見てご意見があればお願いしたい。

● 委員

32 ページに取組みの一例としてA・B・Cと3つ挙げてあるが、その記載がとても抽象的である。具体的なことが全然ないためイメージが湧きにくい。

● 事務局

例えばどのあたりが、どういう意味かということがあれば。

● 委員

例えばBの南口駐車場であるが、この駐車場をどうしようとしているのか。

● 事務局

(現時点で) どうするかを言い切れないのでこのような表現になっていると理解していただきたいが、一例で申し上げると、現在駐車場は市営駐車場であり広い敷地を有するが青空駐車場となっている。「土地の高度利用化」が意味するところは、例えば駐車場を2・3階建てにす

ることにより駐車場台数を確保しながら、土地が二分の一、三分の一空いてくるので、そうした利用も考えられる。そこで民間の力をお借りして駅前のにぎわいのまちづくりができないかという意味でこういった記述をしている。

● 委員

駐車場は非常に広く、光の人口あるいは乗り降りする人口からすると恵まれていると思っている。他の駅でこのような駐車場はないのではないかと思う。また具体論になったときにうかがいたい。

● 会長

書きぶりを工夫されてはどうか。上の①～④がA・B・Cの個別の方針を書かれている。A・B・Cの方がコンセプト的な話書かれており、それを具体的にしたら①～④の話になるということではないのか。A・B・Cというのは非常に大きな話で、駐車場と二つの駅広という一番の懸案となるスペースである。非常に重要なスペースのことなので、もう少し大きく打ち出して、それを①～④で考えていくということを、右ページ全部使う勢いで書くぐらいの迫力を見せてほしいのだが。いかがか。

● 事務局

ご指摘のとおり、A・B・Cの部分は、短期的な取組みの中での中心的なものだと思う。最終段階でどのような記述ができるのか、調整させていただきたい。

● 会長

500m圏の円があってよいが、短期的なところは駅周辺のゾーンにクローズアップしているので、次のページに駅周辺だけをクローズアップしてA・B・Cのことを書いていくのでも良いかもしれない。中長期的なことは少しマクロにぼやかしても良いかもしれないが、短期的なことについては図面もクローズアップして「短期的な取組みの一例」のところをコンセプト的な話と具体的な話に分けてしっかり書き込んでいくことのほうが理解しやすいのではないか。ご検討いただければと思う。よろしくお願ひしたい。

● 委員

構想ではあるが、短期と中・長期に明確に分けるのはどうかとを感じる。例えば中・長期の中でも一つ一つ、これはどの時期、といった表現ができないのかとを感じる。行政としての熟度的なところで判断され、また、次のステップの話なのかもしれないが、500mのエリアで何を今一番やらないといけないのかということを、優先順位をつけて全体のスケジュールを書いたらどうかと思う。

また、推進体制についての記述がない。都市計画や交通だけの話ではなく、全市を挙げての取組みになると思うので、そのあたりがわかるようなものがないと困る気がする。

● 会長

ありがとうございます。二点、非常に重要な視点だったと思うが事務局いかがか。一点目は中・長期という位置付けがはっきりならないのかということ。優先順位ということで考えたときに、「中・長期の取組みの一例」の中身はどういった考え方になるのか。もう一点は、推進体制について、いろんな主体が関わってくるがその体制論が抜け落ちているのではないかということだが、いかがか。中・長期の話は先程から出ている話に関連しており、みんなこの辺に興味があるのでよろしくお願ひしたい。

● 事務局

二点目の方から。体制については「第6章 基本構想の推進に向けて」に記述すべきことなのかもしれないので、最終案の段階で検討させていただければと思う。中・長期の取組みについては、3ページの一番下にあるが、構想で掲げたことをなかなか一度にまとめてはできないため、短期と中・長期の2区分に分けて、それぞれの優先順位を踏まえつつ段階的に検討を進めていくと示している。中・長期の取組みはすぐにやらない、と受け止められるのは大きな誤解であるので、そのあたりは何か工夫ができればと思う。

● 委員

どれが優先度が高いのかという整理が見えてこない。人口は減っていくが駅を整備する、乗客は維持できるのか、といった視点で考えると、住んでもらえるような取組みも合わせてやるべきではないのか、という思いもするので、そういったところで地域の皆さんの意識を醸成していく必要があると思う。

● 会長

多分、短期的なことをやりながら中・長期の関係も整理していかないと進まないことがある。案内サインや災害の設備など、短期的なことだが中・長期のことも加味して検討することにもなる。その辺の整合性が短期か中・長期か一刀両断に切れない。イメージが伝わるような書き方をすると優先順位として整理できるかもしれない。いかがか。書き方としては難しいか。

● 事務局

並行して(中・長期の)取組みが始まる部分もあるというところが必要、と受け取れたため、そういった記述ができるか検討させていただければと思う。

● 会長

中・長期の中で防災や交通などカテゴリがいくつかある。そのカテゴリと、その中でも短期的にやるものと関連するものを矢印で記述するなど書き方が工夫できるのではないかと思う。民間は行政が一手を打った後になる可能性もあるので、そういうものも含めて短期と中・長期を上手く整理していただきたい。

● 委員

なかなかサクッといかない理由は、主体が見えていないこと。公共性の高い行政にしかつくれないものと、官民が協力してつくっていくもの、皆の活動に合わせてつくられていくもの、といった仕分けが透けてみえるようにしないと難しい。その仕分けがあれば短期や中・長期ではなく行政が初めにつくらなければならないものと、後から付随的に出てくるものに分けることができるのではないか。その辺を考えるとより解決に近づくのではないかと思う。

● 事務局

行政がやる部分、民間がやる部分、市民がやる部分、一緒になってやる部分というケースがあろうかと思うが、それが見えてこない、というアドバイスと受け取った。最終段階でどこまでできるか少し検討時間をいただければと思う。

● 委員

虹ヶ浜海岸は、私たちが子どものころと比べると、変わっていないというより、寂れて悪く変わっている。レジャーが多様化したこともあると思うが。国立公園ではあるが、夏だけでなく、オールシーズン活用できるよう、例えばショッピングできるといったことも試験的にやっ

てみるのが大事なことだと思う。それと同時に若い自営業の人などにアイデアを聞くなど、できるところからやってみることが必要ではないか。手近なところからやってみることで光の良さが口コミで広がっていくということもあるのではないかと思うがいかがか。

● 会長

二点ほどあった。一つは、できる範囲でまずは行動を起こして虹ヶ浜あたりの活性化を考えていくことが重要であること。もう一点は、若者を含めたいろんな主体のアイデアを募り、トライしていくことも並行してやっていく必要があるという意見だったが、事務局いかがか。

● 事務局

虹ヶ浜は、第2種特別地域という厳しい規制がある国立公園であるが、だから何もしないのではなく、というご指摘と思うが、行政しかり、民間しかり、シンポジウムの中でも社会実験といったお話もあったが、できるかどうかはわからないが、できるところからやってみたいと思っている。

● 委員

山口県には政治家がたくさんいるので、どんどん活用していくことが大事ではないか。

● 事務局

若者の意見についてはワークショップなどでいただけてきたし、市民の方の意見を聞く機会は大変重要であるため、次のステップにおいても段階的にそういった機会をつくりながら進めていきたいと思う。

● 会長

33 ページに「基本構想の推進に向けて」と、市の方針などを宣言している。先程、推進体制をここに書くべきだとあった。ソフトなアイデアの収集やできるところからトライしていくというようなこともここに書いてもいいのではないか。どちらかという今はハードに寄っているので体制とソフトな取組みをここにもう少し盛り込んで基本計画に繋げていくような流れにしてはどうか。

● 事務局

いろいろご意見をいただいたので、特に 33 ページの最後の部分は次のステップに向けて大きく関わるページなので最終的に整理をさせていただければと思う。

● 委員

32 ページの短期の取組みの一例の囲ったところはすべてハード整備だと思う。ソフトが見えないところがある中で、21 ページの「6 “にぎわい” あふれる空間づくり」の『また、時代の潮流や市民のニーズ等も踏まえつつ、創意工夫によって“にぎわい”を創出し、それを絶え間なく継続していく必要があります。』と自らうたっているが、このあたりのにぎわいの創出の仕掛けは非常に難しいと思う。先日のシンポジウムで、姫路駅では順序を踏まれ、仕掛けやその後のエリアマネジメントもしっかりやられていた。光市の資料を見ると一体どこに向かっているのかわからない。前回か前々回か、虹ヶ浜海岸をまちづくりにつなげて一体的に整備しようとおっしゃっていたと思うが、今回の資料 32 ページには虹ヶ浜海岸は中・長期的な取組みということで、後の整備と位置付けられているところがどうかと思う。また、3 ページに期間を 15 年としているが、これは短期だけか、中・長期も含め 15 年なのか。短期で 15 年だと、次のステップに踏み出すのに力がある。そのへんをどう考えているのか。短期で 15 年経った

後の中・長期的な取組みへのつながりを考えた上でまちづくりを整備していかないと、先行してやったものに後で整備の予定しているものがついてこない気がする。この辺を教えていただければと思う。

● 会長

一点は、短期と中・長期のつながりの流れがわかりにくく、15年の目安はどうなのかということ。もうひとつは、ソフトの取組みについての記載について。事務局いかがか。

● 事務局

3ページの概ね15年というのは、短期と中・長期を合わせたものと考えていただければと思う。その中でも短期の方がハード中心になっているのでないか、とのご指摘だったが、先ほどのようなご意見も踏まえて、最終的に中・長期としている中から優先順位など並行して着手するものをどう表現するか考えさせていただければと思う。

● 会長

15年というのは、何年からか。

● 事務局

来年度、平成31年度から15年である。

● 会長

上位計画など、何かの計画のスパンと合わせているのか。

● 事務局

このたび構想を策定して事業化に動いていく中で15年と設定している。

● 会長

任意の15年ということか。

● 事務局

そのとおり。

● 会長

何かの計画に合わせたほうがよいのではないか。例えば立地適正化計画は何年スタートで、何年を目途にしているか。

● 事務局

来年度スタートの概ね20年後である。

● 会長

何かの計画期間と合わせたほうが良くないか。例えば総合計画の見直しの年度に合わせるとか。必要があれば合わせたほうが良いかもしれない。いろんな見直しの期間とセットになるので、それはご検討いただきたい。

そのほかあるか。それでは、今日後半部分でいろいろ意見が出た。年度内まだ数ヶ月あるので作業を進めていっていただきたいと思うのでよろしくお願ひしたい。

皆さんのほうからよろしいか。

● 委員

全体を通じての意見だが、私はこのような計画を作ったときに持続性が一番大事だと思う。その視点をしっかり踏まえて計画を練っていただきたい。

● 会長

極めて重要な意見をいただいた。つくって終わりではなく、持続性、継続性を念頭に置きながら計画策定をお願いしたい。

それでは、議題については以上で終わる。

4 その他

● 事務局

今後の予定について確認させていただく。今後、本日の検討会議のご意見、12月10日から実施しているパブリックコメントのご意見、市議会等のご意見などを踏まえて最終案の整理を進めていく。3月にこの検討会議で最終案を示し、3月末の策定を目指す。次回は3月を予定している。引き続き、ご理解ご協力をお願いしたい。

● 会長

3月に最終回を開催する予定であるということなのでよろしくお願いしたい。今日の意見について、特に32～33ページについて意見がかなり出たので十分な審議・検討のうえ、最終案をお示しいただきたいのでよろしくお願いしたい。

全体を通して皆さんから何かあるか。

⇒意見なし

ないようであれば、事務局にお返しする。

5 閉会

● 事務局

本日の会議を終了する。またご意見・ご提言があれば随時事務局に連絡いただきたい。